

## シラス卵稚仔分布調査情報(No.1)

平成 29 年 4 月 20 日(木)に、調査船「いばらき丸」によりシラス卵稚仔調査を行いました。調査結果は以下のとおりです。

### 【調査内容】

銚田市玉田沖の定線において、ノルパックネットによる卵採集調査（水深 150m からの鉛直曳き）、ニューストーンネットによる仔稚魚採集調査（表層曳き）、および海洋観測調査を行いました。



調査船いばらき丸(179トン)

### 【調査結果】

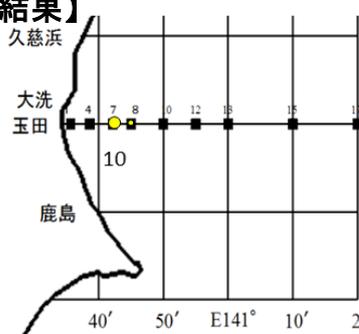


図1 カタクチイワシ卵採集結果

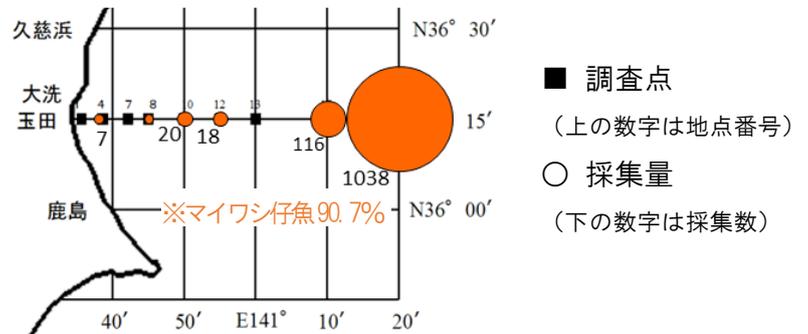


図2 イワシ類仔魚採集結果  
 (マシラス, ウルメシラスを含む)

表 調査点及び海洋観測結果

調査位置 (北緯36° 15')	st(調査点)	1	4	7	8	10	12	13	15	17
	経度	140° 35'	38'	42.5'	45'	50'	55'	141° 00'	10'	20'
離岸距離(マイル)		1	4	8.5	11	16	21	26	36	46
水深(m)		12	24	37	50	117	270	510	770	1000
観測結果	水温(°C) 0m	12.9	12.3	14.8	15.1	15.2	16.2	16.7	17.0	16.7
	50m	-	-	-	-	14.2	15.4	16.1	16.5	16.5
	100m	-	-	-	-	12.0	13.5	14.7	14.8	14.5
	流向° (10m)	-	348	9	351	349	105	161	203	166
	流速Kt(10m)	-	0.3	0.4	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.7

### 【まとめ】

調査ラインの水温は、表層で12~17°C、水深100m層では12~14°Cでした。また、潮流は灘側(140° 50' E以西)では真潮傾向、沖側では逆潮が観測されました(上表)。

カタクチイワシ卵は少量でしたが、イワシ類仔魚は沖側を中心に平年より多く採集されました(図1,2)。ただし、マイワシ仔魚が9割を占めています。

4月中旬から県南部を中心にシラスの水揚げが増えていますが、これらのシラスは黒潮から発生した暖水と共に来遊したと考えられます。茨城沖の海況は今後も暖水の影響が見込まれていること、また調査ではマイワシ仔魚が多く採集されたことから、引き続きマシラス主体の漁獲が続くと考えられます。

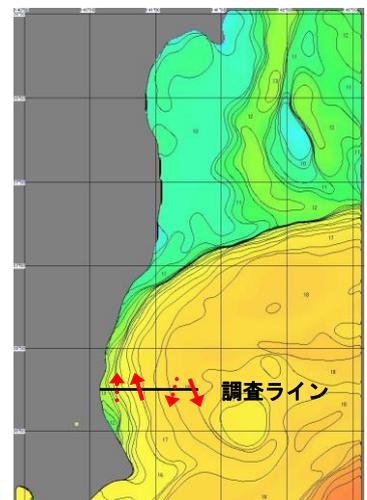


図3 NOAA衛星画像(4/20)